

# 対馬市の概要



# 対馬市のプロフィール（令和7年6月末現在）



対馬市は、平成16年3月1日に誕生した一島一市の島です。対馬の6町（厳原町、美津島町、豊玉町、峰町、上県町、上対馬町）がひとつになって誕生しました。この市章は、対馬市の頭文字「つ」を6つ使い、合併した6町を表しています。また、対馬の歴史と未来への発展をつなぐ時間の流れを表しています。

- 【人口】 26,663人
- 【世帯数】 14,499世帯
- 【高齢化率】 41.1%
- 【出生率】 1.78（合計特殊出生率2020）
- 【面積】 707.42km<sup>2</sup>
  - ・日本で3番目に大きい島
- 【地勢】
  - ・面積の約9割が山地＝山の島
  - ・南北に82km、東西に18km
  - ・海岸延長は915km
  - ・6つの有人島と102の無人島

## 【位置】

九州の最北端に位置し、福岡までは海路138km、釜山まではわずか49.5kmです。

## 【アクセス】

航空路は、対馬やまねこ空港から福岡空港・長崎空港へそれぞれ就航し、航路は厳原港から博多港に高速船とフェリー、比田勝港から博多港に高速船（混乗便）とフェリー、厳原港・比田勝港から釜山に高速船が、それぞれ運航しています。

## 【気候】

暖流である対馬海流が対馬を二分して北流しているため、年平均気温は約15℃と比較的温暖です。秋から初春にかけては大陸から吹く北西の季節風の影響を受け冷え込むことが多いですが、海に囲まれているため雪はほとんど降りません。夏は、海風により大地に熱がたまらないため、本土よりも涼しいです。



対馬の位置図と対馬北部から望む韓国釜山の夜景  
（手前は航空自衛隊海栗島分屯基地）



対馬市マスコットキャラクター とらっち

## 【行政】

市長 比田勝 尚 喜  
副市長 俵 輝 孝  
副市長 一 宮 努  
教育長 中 島 清 志

## 【議会】（議員数 17 人：定数 17 人）

議長 春 田 新 一  
副議長 島 居 真 吾

## 【名誉市民】

・(故) 永留 久恵 氏 (H25.12)

## 【名誉国際諮問大使】

・(故) 姜 南周 氏 (R5.6)

## 【国際諮問大使】

・ディサント・ダニエレ 氏 (H23.9)  
・李 相俊 氏 (R5.6)

## 【その他大使等】

・赤米諮問大使：相川 七瀬 氏 (H24.6)  
・対馬ソムリエ：王 理恵 氏 (H24.9)

## 【姉妹都市】

<国内>・岡山県瀬戸内市 (H18.11)  
・岐阜県中津川市 (H19.11)  
<海外>・アメリカ：グアム島 (S52.2)  
・韓国：釜山広域市影島区 (H17.11)

## 【友好都市】

<国内>・滋賀県長浜市 (H23.11)  
・沖縄県竹富町 (H28.7)  
<海外>・韓国：蔚山広域市蔚州郡 (H17.11)  
・中国：上海市崇明県 (H24.7)

## 【連携（協定）都市】

・鹿児島県南種子町 (H26.3) ※赤米  
・岡山県総社市 (H26.3・R1.6) ※赤米・災害時応援  
・佐賀県基山町 (H29.4) ※ふるさと納税

## 【都市宣言】

・非核・平和都市対馬宣言 (H16.4)  
・ヤマネコ愛！ランド共同宣言 (H27.10)  
・ごみゼロアイランド対馬宣言 (R4.6)  
・気候危機を回避して持続可能なしまの実現を目指す宣言 (R4.6)

## 市の花：ゲンカイツツジ



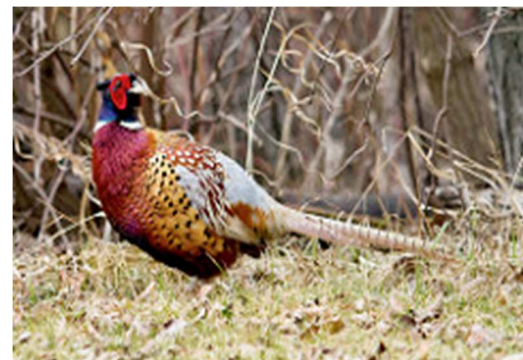
高さ 2～3mの落葉低木。日本では対馬の群生が最大規模であり、3月から4月にかけて花を咲かせます。対馬では日当たりのよい山地部だけではなく、浅茅湾の海岸線でも見られます。

## 市の木：ヒトツバタゴ



日本では対馬市上対馬町鰐浦と中部地方の木曾川流域のみに自生し、5月頃に白い花を咲かせます。鰐浦地区は昭和3年にヒトツバタゴの自生地として国の天然記念物に指定されました。

## 市の鳥：コウライキジ



キジによく似ていますが、雄は首に白い輪があり雌は白っぽいのが特徴です。日本には江戸時代に朝鮮から対馬に輸入された歴史があり、対馬を代表する鳥類の一種です。

## 美しい自然が残る環境王国「対馬」



白嶽と浅茅湾



ツシマウラボシシジミ(絶滅危惧IA類)



オウゴンオニユリ

ツシマヤマネコ  
(絶滅危惧IA類)



対馬は89%が山林で占められており、雄大で美しい自然に覆われています。厳原町の龍良山や美津島町の白嶽には、原始林が残っており、国の天然記念物に指定されています。中央部の浅茅湾は複雑に入り組んだリアス式海岸であり、美しい景観を楽しむマリネレジャーや真珠・マグロ等の養殖業を支えています。



ツシマヤマネコをはじめ、ツシマテン、チョウセンイタチ、ツシマサンショウウオ、ツシマウラボシシジミ、平成29年には、日本では38年ぶりとなる野生のカワウソが発見されるなど、対馬の生き物には、かつて大陸と陸続きであった「島」ならではの環境条件が色濃く反映されています。

対馬は、野鳥の繁殖地であるロシア・中国等と、東南アジア等の越冬地の中間に位置するため、春と秋の渡りの時期には、アカハラダカやヤマショウビン等の数多くの珍しい野鳥を観察することができます。

植物に目を向けると、島内には原始の照葉樹林が数多く残っています。また、ヒトツバタゴやゲンカイツツジ、オウゴンオニユリ等、四季折々の美しい植物が花を咲かせ、人々を魅了します。また、大陸に近いという地理的条件から、日本では対馬にしか生息しない植物が多いのも特徴です。ウスギワニグチソウやツシマギボウシ、ハクウンキスゲ等、春から秋にかけて咲く貴重な花々も見られます。

このような、優れた自然環境を有する地域として、対馬は客観的事実を確認し基準点を満たした環境王国に認定されています。

# 森・里・海の資源の豊かな島 「対馬」

対馬市の産業は周囲に広がる豊富な漁場と高大な山々によって支えられ、発展してきました。国内でも有数の水揚げ高を誇る水産業、豊富な森林資源を活用した製材やしいたけの生産を中心とする林業が主要な産業です。

島を囲む漁場は対馬暖流と沿岸水の混合によって変化に富み、沿岸一帯は磯場が広がる好漁場として、アワビやサザエ、ウニ等の磯ものや、ブリ、アジ、サバ、イカ、ノドグロなどの水揚げがあり、特にアナゴは、日本一の水揚げ量を誇ります。また、浅茅湾を中心に、マグロや真珠、ヒオウギガイ等が養殖されています。

対馬のひのき材（対州桧）は材質が硬く、心材は淡いピンク色をして、香りが高いのが特徴です。また、しいたけは、長崎県内生産量の99%を対馬が占めています。乾しいたけは、肉厚の「どんこ」が特に良質で、全国しいたけ品評会においても高い評価を受けています。

農地は陸地の1.3%ですが、米づくりに加え、平成30年にGI産品（地理的表示保護制度）として県内で初登録された“対州そば”（そばの登録は全国初）の栽培も盛んです。近年では、

ヤマネコと共生する農業を目指して減農薬や有機農法による米づくりが上県町佐護地区で行われ、佐護ツシマヤマネコ米としてブランド化されています。



佐護ツシマヤマネコ米



対馬近海で捕れる海の幸



肉厚の原木しいたけ



アナゴ料理  
(煮アナゴ、刺身、せいろ蒸し)

## 魅力的な人々が暮らす島 「対馬」



ニホンミツバチの蜂蜜(左)と蜂洞(右)



伝統的な保存食「せん」



国重要無形民俗文化財 厳原町曲地区の盆踊り



子どもの安全と成長を願う「地蔵盆」

KIMSANG600

多くの市民が、対馬の島民性は「親切で、人情に厚く、優しい」と評します。また、移住者や対馬に学びにきた大学生も声をそろえて対馬の人の温かさに感動したと言います。特に、おすそわけ文化は都会の若者を魅了し、再来島する学生も少なくありません。

地域マネージャーへの意識調査では、60地区の計266名のキーパーソン（地域づくりの先導役）の名前が挙がりました。これは一例ですが、地域づくりの担い手が育っています。

また、対馬には、豊かな自然の中で培われ、継承された伝統や文化、暮らしの知恵・技術等が多く残っています。例えば、山の斜面を利用した伝統的焼畑農法である木庭作や原種に近いソバやニホンミツバチの養蜂、磯の資源採取を行う採介藻漁業等があげられます。

さらに、伝統食の代表格である「せん」は、対馬赤米とともに、(一社)日本スローフード協会の「味の箱舟」に登録されています。

地域の伝統的な祭りや行事等も多く残っており、対馬市（豆酩地区）、岡山県総社市、鹿児島県南種子町の3つの地域にのみに残る赤米神事や、元寇（文永の役）で討死した将兵の霊を祀る小茂田浜神社大祭、市内各地に残る盆踊りなどが、市民の誇り、そして、心の拠り所にもなっています。



国選択無形民俗文化財 赤米神事の一つ「頭受け」

# 大陸と日本をつなぐ国境の島 「対馬」

対馬は、日本本土と大陸の中間に位置することから古代よりこれらを海上交通で結ぶ交易・交流の拠点でした。特に朝鮮との関わりは深く中世以降、朝鮮との貿易と外交実務を担い中継貿易の拠点や迎賓地として栄えました。その後、中継地の役割は希薄になりましたが、史跡や城跡、特産品、民俗行事等にも交流の痕跡が伺えます。

例えば、対馬の文化財 13 点が日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋」構成文化財に認定されています。また、日本ではこの地方だけで見られる独特の建物で県指定有形文化財の厳原町椎根の石屋根倉庫には、多くの観光客が訪れています。

さらには、日韓の民間団体（朝鮮通信使縁地連絡協議会・財団法人釜山文化財団）で共同申請した朝鮮通信使に関する記録「朝鮮通信使に関する記録－17 世紀～19 世紀の日韓の平和構築と文化交流の歴史」が、平成 29 年 10 月 31 日にユネスコ世界記憶遺産に登録されました。

現在も日本とアジアの国際交流の架け橋となっており、朝鮮通信使行列の再現をはじめとする日韓交流イベントが行われています。

加えて、県立対馬高校には、韓国の語学や文化を学ぶ「国際交流科」があり、韓国語能力試験 (TOPIK) で最上級資格 6 級の合格者も輩出しています。



国指定特別史跡 金田城跡（とうなんかどせきい）（東南角石塁）



県指定有形文化財 石屋根倉庫



金田城跡	対馬の亀ト習俗
豆敷の赤米行事	対馬藩主宗家墓所
万松院の三具足	清水山城跡
金石城跡	旧金石城庭園
朝鮮通信使絵巻	対馬藩お船江跡
銅造如来坐像(黒瀬観音堂)	
佐須奈港(佐須奈日向改番所跡)	
鰐浦(朝鮮通信使寄港地・ヒツパ'ク'自生地)	



## 総人口と世帯数

令和2年の国勢調査で対馬市の総人口は28,502人でした。平成27年の調査に比べ9.4%少なくなっており、昭和35年の69,556人（国勢調査値）をピークに人口減少が続いています。世帯数は12,681世帯で平成27年の調査に比べ5.4%少なくなっています。

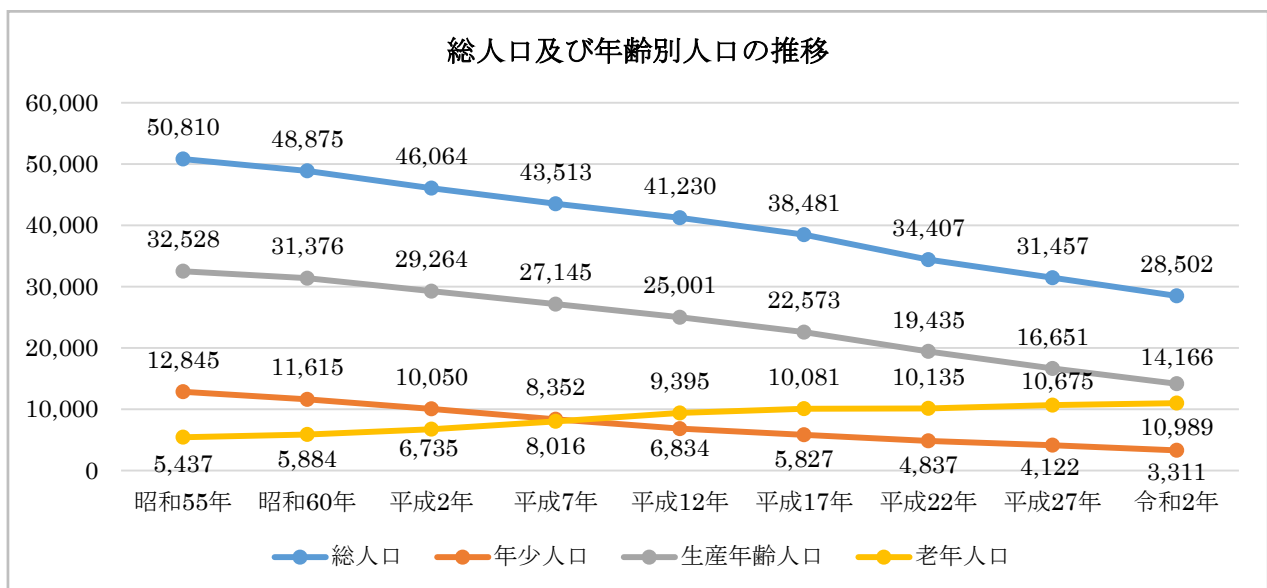
また、65歳以上の高齢化率は全人口の38.6%（令和2年国勢調査値）で、長崎県（33.0%）及び全国（28.6%）に比べ早いペースで高齢化が進んでいます。

年齢別人口・世帯数の推移（国勢調査）

単位：人、世帯

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	48,875	46,064	43,513	41,230	38,481	34,407	31,457	28,502
年少人口	11,615	10,050	8,352	6,834	5,827	4,837	4,122	3,311
	23.8%	21.8%	19.2%	16.6%	15.1%	14.0%	13.1%	11.6%
生産年齢人口	31,376	29,264	27,145	25,001	22,573	19,435	16,651	14,166
	64.2%	63.5%	62.4%	60.6%	58.7%	56.5%	52.9%	49.7%
老年人口	5,884	6,735	8,016	9,395	10,081	10,135	10,675	10,989
	12.0%	14.6%	18.4%	22.8%	26.2%	29.5%	33.9%	38.6%
年齢不詳	—	—	—	—	—	—	9	36
世帯数	15,232	15,164	15,169	15,038	14,710	13,813	13,393	12,681

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）  
表の中、下段の％は、総人口に対する区分別の割合



# 人口動態

死亡者数が出生数を上回る自然減少が続いており、転入・転出の社会要因と合わせると人口減少に歯止めがかからない状況が続いています。

しかしながら、対馬市の合計特殊出生率は1.78であり、また、平成29年にしまぐらし応援室を開設して以降、しま暮らし支援補助金や雇用創出支援などの相乗効果から移住者は増加傾向にあります。

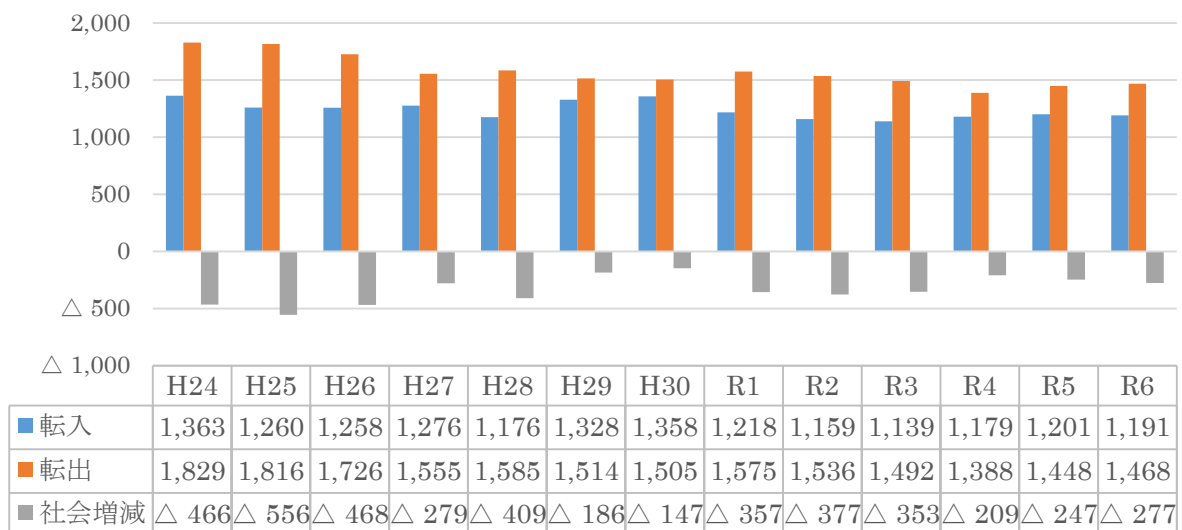


自然動態の推移



(出典：住民基本台帳年報)

社会動態の推移



(出典：住民基本台帳年報)

## 産業別就業者数

令和2年の国勢調査では、対馬市の就業人口は第一次産業の割合が18.4%で他の地域に比べると高くなっています。特に第一次産業の中で77.2%の割合を占める漁業は対馬の主要な産業です。また、第二次産業は13.2%、第三次産業は66.7%の割合で長崎県平均を下回っています。就業者数の移り変わりを見ますと、第一次産業・第二次産業就業者数の減少が著しく、第三次産業は平成12年をピークに減少しています。

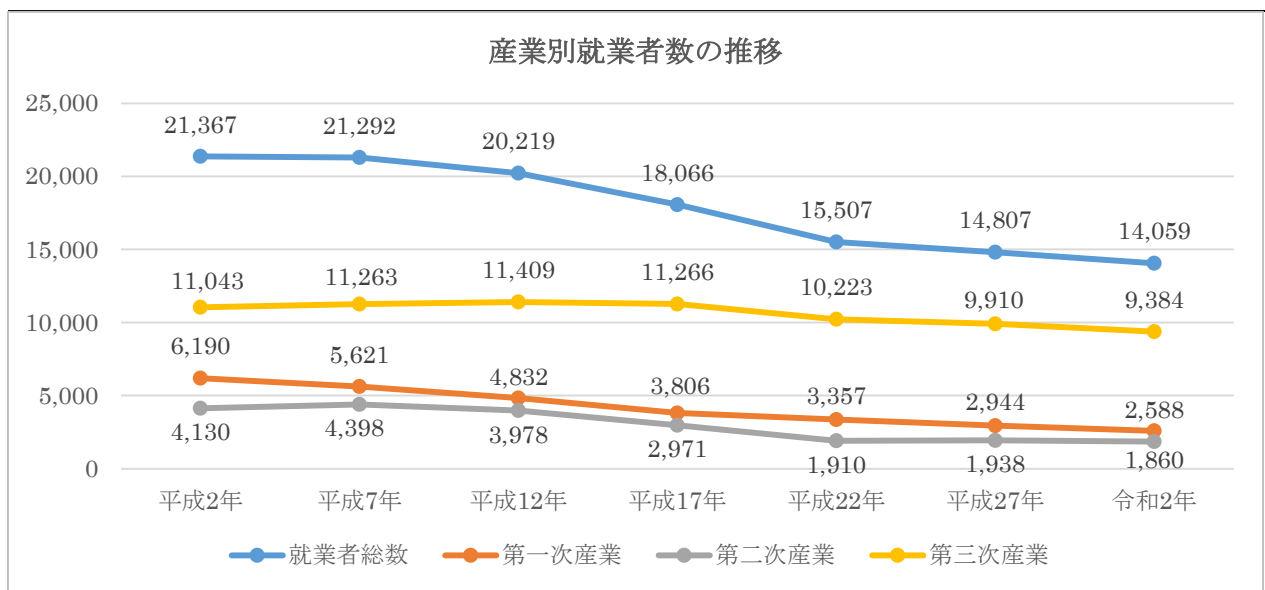
産業別就業者数の推移（国勢調査）

単位：人

区分	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年	R2年
就業者総数	21,367	21,292	20,219	18,066	15,507	14,807	14,059
第一次産業	6,190	5,621	4,832	3,806	3,357	2,944	2,588
	29.0%	26.4%	23.9%	21.1%	21.7%	19.9%	18.4%
第二次産業	4,130	4,398	3,978	2,971	1,910	1,938	1,860
	19.3%	20.7%	19.7%	16.4%	12.3%	13.1%	13.2%
第三次産業	11,043	11,263	11,409	11,266	10,223	9,910	9,384
	51.7%	52.9%	56.4%	62.4%	66.0%	66.9%	66.7%

※表の中、下段の％は、就業者総数に対する産業別の割合

就業者総数には、産業別に分類できない者も含まれるため、産業別就業者数の合計とは一致しない



## 漁業

対馬東沿岸・日本海を漁場の中心とするイカ釣漁業が主です。その他、恵まれた海の資源を活用して鯛やブリなどの一本釣・延べ縄漁、サザエ、アワビの採取、ヒジキ、海藻類の採取、沿岸での定置網漁業、浅茅湾を中心にマグロや真珠の養殖業も盛んです。また、対馬は全国でも有数のアナゴ産地であり、その漁獲量は長崎県全体の9割以上を占めます。しかし、漁獲量の減少や魚価の低迷など漁業を取り巻く環境は厳しく、後継者不足で漁業従業者は年々減少し、高齢化が急速に進んでいます。



## 林業

豊かな森林資源に恵まれており、丸太の搬出やラミナ材、チップなどの製材が盛んであり、第一次産業のなかでは漁業に次いで第二位の産業であります。また、木材生産以外にもしいたけ栽培も行っており、その生産量は乾しいたけ（原木）が長崎県全体の99.4%、生しいたけ（原木）が長崎県全体の83.9%を占めています。しかし、働く人の減少や高齢化、後継者不足、木材やしいたけの価格の低迷から林業の生産額が少なくなっています。



(出典：R5年度 長崎県の森林・林業統計)

## 農業

昭和30年代まで対馬で主要な産業でしたが、他の一次産業と同じように年々働く人が少なくなっています。米やアスパラガス、お茶、対州そば、豆豉みかんなどを栽培していますが、島内では野菜や米などの生産量が少なく、島外の生産地に依存しています。



そば畑

## 建設業



平成 27 年に完成した対馬最長の  
佐須坂トンネル(1,867m)

第 2 次産業において大きな割合を占めており、対馬市の主要産業の一つであります。離島振興法の施行により多くの公共施設やインフラ施設の整備が行われてきましたが、近年、公共事業の減少により事業所とともに従事者も減っています。

## 鉱業



日本で初めて銀が産出された対馬銀山では、江戸時代に銀や鉛、昭和 30 年代には、亜鉛が産出されましたが、昭和 48 年に閉山しました。現在、巖原町阿須地区において、陶磁器やタイルなどの窯業原料が年間 3 万トン採掘され、日本三大産地(対馬・瀬戸・天草)の一つに数えられています。

## 製造業



食料品製造業、窯業・土石製品製造業、木材・木製品製造業などで、規模の小さい事業所が多いのが特徴です。近年では、増加する有害鳥獣を地域資源として有効活用するため、いのしし、鹿の皮革製品や食肉加工品、海藻類などの食害魚(イスズミ)を活用した水産加工品等が製造されています。

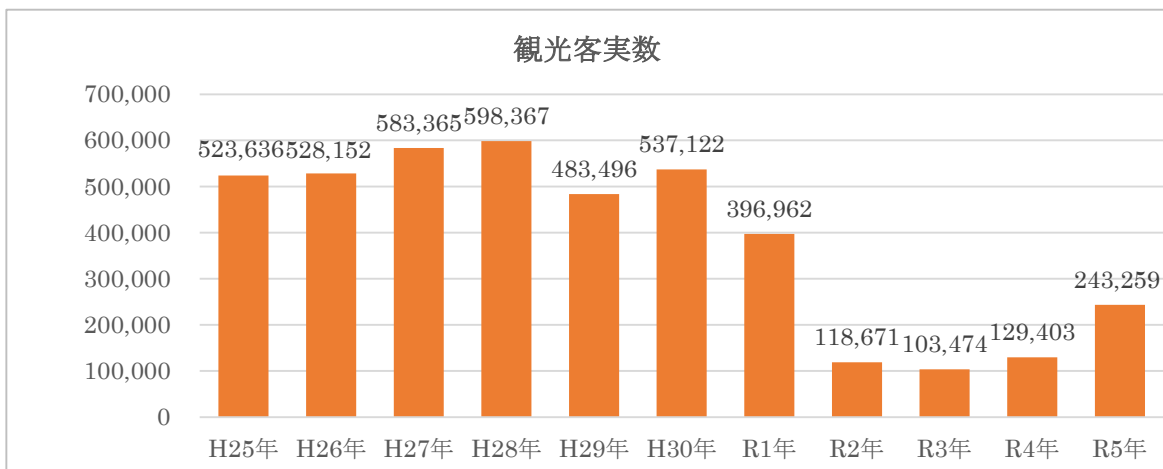
# 観 光

歴史・自然・文化といった対馬独自の豊かな観光資源や韓国との国際航路が開設されたことや朝鮮通信使行列再現（対馬厳原港まつり同時開催）、国境マラソン I N 対馬、国境サイクリング I N 対馬などのイベントや登山、シーカヤック、サイクリングなどのエコツーリズム等で国内外からの観光客が増えています。

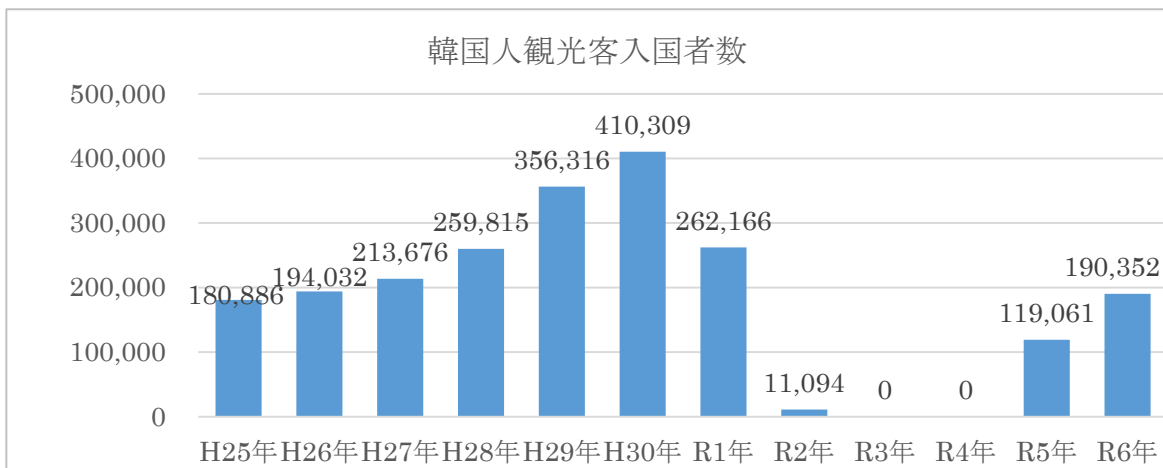


朝鮮通信使行列再現

また、大手ホテルチェーングループの誘致や地元企業による宿泊施設の開設、博多・比田勝・釜山を航行する対馬混乗便の運航、令和2年3月末からオリエンタルエアブリッジ（株）が、福岡航空路線の一部に参入し、一部座席料金を島民割引並運賃に設定されるなど、民間企業と連携した観光客の受け入れ態勢も確実に進んでいます。



(出典：長崎県観光統計)



(出典：対馬市観光商工課調べ)

島内の交通は、バスやタクシーの公共交通機関よりも自家用自動車での移動が多いのが特徴です。道路は厳原から各町の中心地を通過して比田勝までを南北に結ぶ国道382号が対馬の幹線道路であり、国道382号以外の道路は、道幅が狭く、急カーブ・急勾配が多いため、まだまだ整備が必要です。

島外との交通手段は、対馬空港から航空機、比田勝港・厳原港からフェリー・高速船が運航しています。

昭和50年に開港した対馬空港からの航空便は、福岡便と長崎便が運航しています。

海上交通では、対馬と本土を結ぶ定期フェリーが比田勝港から博多港を1日1往復（4時間55分）、厳原港から博多港を1日2往復（壱岐経由で4時間30分）しており、高速船（ジェットフォイル）は厳原港から博多港を1日2往復（壱岐経由で2時間15分）しています。



朝鮮通信使行列をラッピングした路線バス



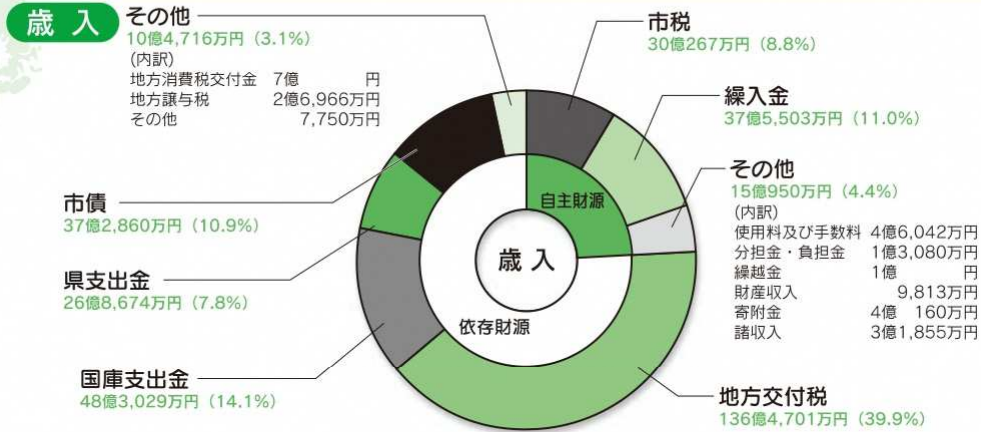
対馬ー福岡を航行する全日空Q400機



清水山城から望む厳原港と入港するジェットフォイル ヴィーナス

令和7年度

# 一般会計予算

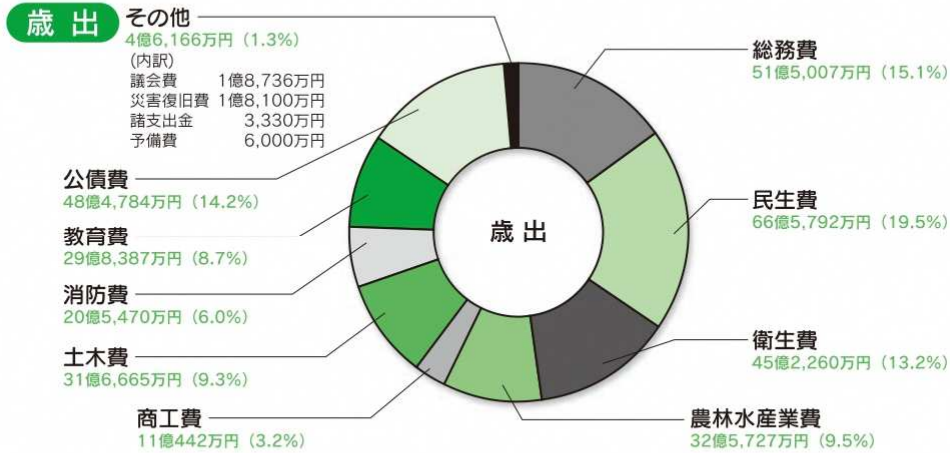


### 【自主財源】市が自主的に収入できる財源

市 税	市民税や固定資産税など、市民の皆様にあてていただく税金
分担金及び負担金	市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金
使用料及び手数料	公共施設の使用料や住民票などの交付手数料など
繰 入 金	各種基金(貯金)の取り崩しなどにより繰り入れるお金

### 【依存財源】国や県の意志決定に基づき収入される財源

地方交付税	一定水準の行政運営ができるよう所得税や酒税など、国税の一部から市の財政状況に応じて交付されるお金
国庫支出金	特定の事業に対して国から交付されるお金
県 支 出 金	特定の事業に対して県から交付されるお金
市 債	主に建設事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金



総 務 費	行政活動の共通的な管理運営や拡張性などのために使われるお金
民 生 費	福祉サービスのために使われるお金
衛 生 費	健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
農林水産業費	農業・林業や水産業の振興のために使われるお金

商 工 費	商業振興や観光などのために使われるお金
土 木 費	道路・河川や公園などの整備のために使われるお金
消 防 費	消防・防災のために使われるお金
教 育 費	学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
公 債 費	市債(借金)の返済のために使われるお金



## 対馬市

〒817-8510 長崎県対馬市厳原町国分 1441

TEL 0920-53-6111 FAX 0920-53-6112